

# 第52回VE全国大会 『VE実践論文』募集

## ◆ 第52回VE全国大会 ◆

- 会 期：2019年11月6日（水）～11月7日（木）2日間
- 会 場：アルカディア市ヶ谷〔東京都千代田区九段北4-2-25〕
- 主 催：公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

VE全国大会は、VEのますますの普及・活性化と技術水準の向上を主な目的に、毎年秋に開催されており、2019年度は上記の会期・会場で開催の予定です。その開催にあたり本会では、今回より「VE実践論文」を募集いたします。

「VE実践論文」とは、

- ・VE実践活動を通じて得られた創意・工夫をまとめたもの
  - ・VEに関する技法について、モデルケースやシミュレーションにより検証し、実務への適用を提案するもの
  - ・VEに関するアンケート調査等により得られた情報にもとづく考察をまとめたもの
- など実務に即した内容で、必ずしも学術的研究プロセスを経たものでなくても可とします。論文テーマ例、論文評価項目を含む募集要項は、次頁以降をご参照ください。

学術論文（査読付）としてのご投稿は、本会の機関誌「バリュー・エンジニアリング」で随時に受け付けております。なお、今回の大会から「VE事例」としての募集は中止します。

『論文審査委員会』における審査の結果、入選となった論文は、大会で表彰いたします。バリュー・エンジニアをはじめ、企業や公共機関の方々、研究者、コンサルタント、学生など、多くの方々からのご応募をお待ちしております。

## お問い合わせ／お申し込みは

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

〒154 - 0012

東京都世田谷区駒沢 1 - 4 - 15（真井ビル 6F）

TEL. 03 - 5430 - 4488 / FAX. 03 - 5430 - 4431

URL : <http://www.sjve.org> / E-mail : [info@sjve.org](mailto:info@sjve.org)

# ～『VE実践論文』募集要項～

## 1. 論文テーマの一例

- \* ○○分野へのVE適用事例の効果及び今後の可能性
- \* ○○業におけるVE適用事例にもとづく○○に関する考察
- \* ○○製品の開発VEに応用した○○手法の効果に関する考察
- \* ○○業務へのVE適用と成果拡大のための方策
- \* VEと○○手法の融合活用に関する試行と考察
- \* VE実践における○○の課題に対する効果的な解決策
- \* VEと○○に関する実態調査に基づく考察
- \* イノベーションを促す効果的な創造プロセスに関する提案
- \* 公共分野における価値向上の事例と波及効果 など

## 2. 応募方法

- (1) 申込の方法 次の4つを本会事務局に E-mail 又は FAX でお知らせください。
  - ①論文テーマ ②論文要旨(150字～200字) ③執筆者氏名(個人名のこと)
  - ④連絡先(会社名、所属・役職名、所在地、電話番号、E-mail アドレス)
- (2) 申込の締切 2019年2月28日(木)  
※今回より論文要旨について予備審査を行います。  
予備審査を通過した方には、折り返し原稿執筆ガイド等をお届けいたします。
- (3) 本文原稿の締切 2019年4月18日(木) 9時必着で本会事務局にお送りください。
- (4) 原稿の作成
  - ①A4判の白紙を使い、MS-WORD で作成してください。
  - ②A4判1枚につき横40字、縦40行で、10枚以上12枚以内(図表を含む)といたします。
  - ③そのまま製版いたしますので、図表も鮮明なものを見やすい大きさに本文中に挿入してください。
  - ④MS-WORD 及び PDF の2つのファイルをご提出ください。

## 3. 審査

- (1) 審査は、「論文審査委員会」で行います。
- (2) 審査では、次頁の評価項目に従い、審査します。
- (3) 審査の結果は、2019年7月中旬までに文書でお知らせいたします。
- (4) 内容のさらなる充実を目的に、「論文審査委員会」から原稿の一部修正を求めることがあります。  
その場合は、審査委員会の要請を尊重し、修正していただきます。
- (5) 原稿は、図表を含め一切返却できません。

## 4. 発表・表彰

入選論文は、「第52回VE全国大会」で執筆者から発表していただきます。  
また、同大会にて表彰(賞牌の授与)を行います。(賞金はありません)

## 5. その他

- (1) 入選論文は、「第52回VE全国大会 VE実践論文集」に収録いたします。また、大会の終了後に本会のホームページなどへ掲載されることもあります。
- (2) 入選論文は、選考のうえ SAVE 国際大会発表論文として SAVE International (米国 VE 協会) に推薦されることがあります(発表に際しての諸費用は自己負担となります)。
- (3) 入選論文は、内容的に学術論文としての可能性がある場合、バリュー・エンジニアリング誌学術論文(査読付)に推薦されることがあります。ただし、採択が必ずしも保証されるものではありません。

## ※ VE実践論文の評価ポイント

### 1. 論文としての形式

- ・記述内容に誤りやあいまい性がないか。
- ・実践論文の要旨が明確に記述されているか。
- ・論旨の展開(論文としての起承転結)が明確であるか。
- ・図表、文体が簡潔でわかりやすいか。

### 2. VE実践論文としての説得性・内容の有用性

- ・実践論文としての成果(主張)が文中に明確に述べられているか。
- ・文中で示されたVE活動成果が(当該)産業界の社会的課題に込えているか。
- ・文中で示されたVE活動成果は当該分野・製品以外にも波及効果が望めるか。
- ・VE・並びに関連手法の実務上の改良・改善の工夫がみられるか。

### 3. VE実践論文としての適性度

- ・VEの機能分析の視点、機能本位の創造思考、代替案の変更点・特徴や価値保証・改善効果、VE管理などについて適切に言及されているか、など。

主に上記評価項目により総合的に審査の上、入選の可否を厳正に判断いたします。

以上

「第51回VE全国大会」の様様

